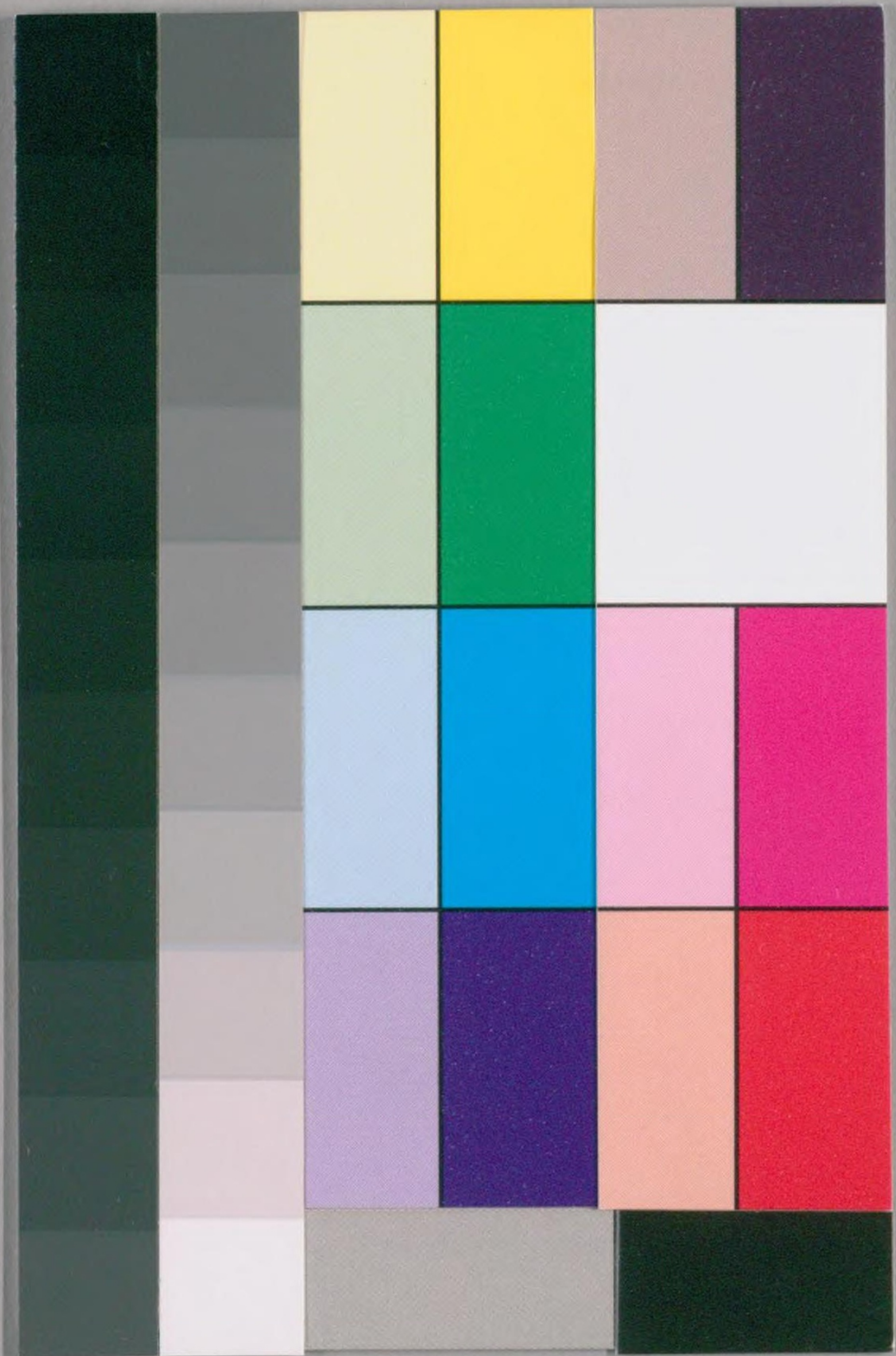


前太平記

全

別12
・28



国立国会図書館 タイトル『前太平記』 請求記号 本別12-28

ガラス使用

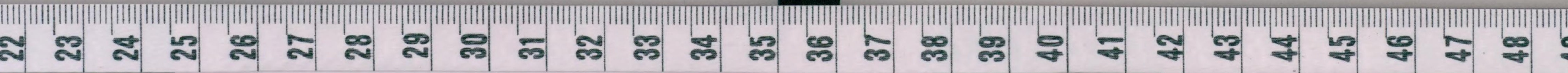
壹

夫凶年ハ豊作の基乱世ハ是治國の蒼武道を天下
 の衛であり然も往古の諸軍談強いなりとて
 小童蒙までも義我膽をとり腕をさする勇氣あり
 是を武道の根元あり世の人毎々おのづから意
 と乗揚々の勢ひあり中宇の邪魔も是が為り
 恐もて災を降し得て御代はまましく泰
 平の安穩限りありは感ざる所あるとて
 是等の草紙を儲るの事

天保九年戊戌春發行

宝田千町誌

信



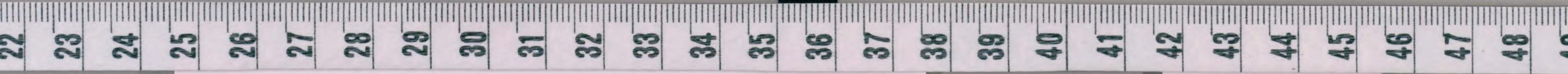




經基の御子
左馬次多田満仲



房崎大臣の三男
藤原真楯の
苗衣問
伊豫掾
純友





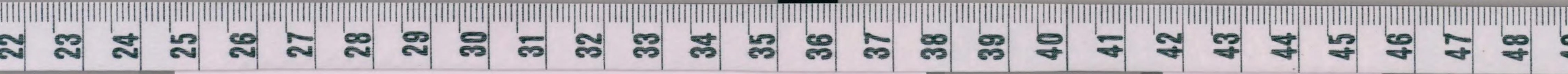
葛原親王の
 後胤前將軍
 平良將嫡男
 瀧口小次郎
 相馬將門

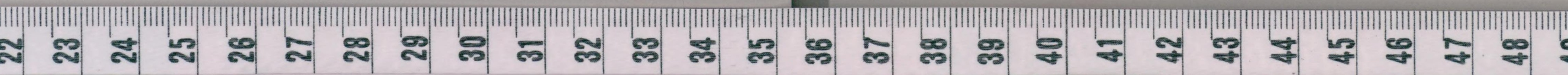
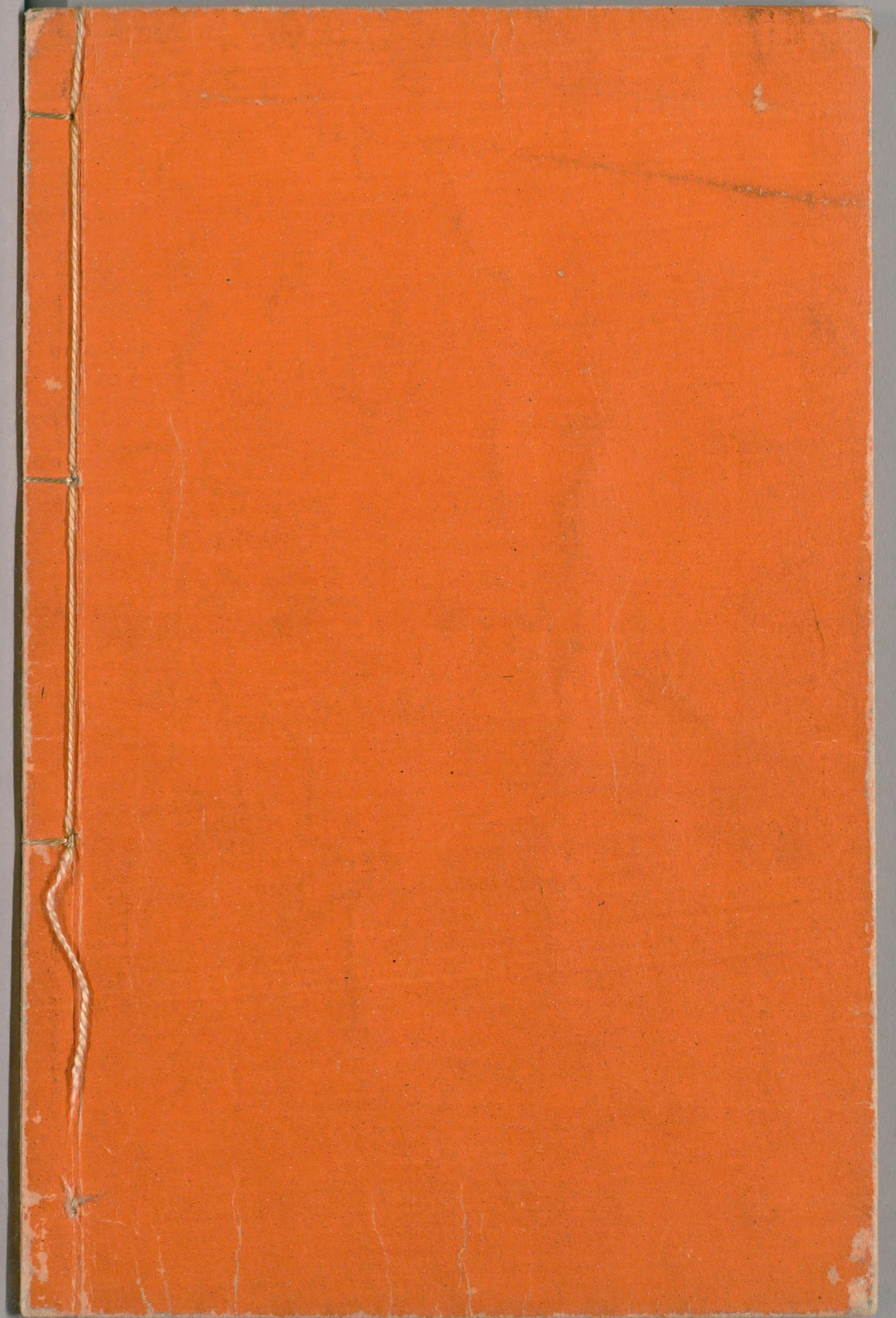


大職冠鎌足七世の孫
 河内守村雄の嫡男
 下野團
 の住人
 藤原の
 太
 秀
 御

前太

三





国立国会図書館 タイトル『前太平記』 請求記号 本別12-28

ガラス使用